

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 甲斐百合子

一般質問の通告について

令和6年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 不登校対策について	<p>【趣旨説明】</p> <p>文部科学省の「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等指導上の諸課題に関する調査」において、小・中学校の不登校児童生徒数が、約299,000人、うち学校内外で相談を受けていない児童生徒数が約11万4千人で、いずれも過去最多を更新しました。</p> <p>同省が令和5年3月に「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策COCOLOプラン」を発表し、政府においては、令和5年10月に「不登校・いじめ緊急対策パッケージ」がとりまとめられ、総合経済対策に不登校といじめの対応の充実強化が盛り込まれました。</p> <p>このパッケージには、不登校児童生徒全ての学びの場の確保として、オンラインで自宅からも学べる環境整備や、どこにもつながっていない児童生徒の支援のためのアウトリーチ。また、心の小さなSOSの早期発見として、アプリ等による「心の健康観察」の推進や、1人1台の端末を活用した「SOS相談窓口」、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの充実などが示されました。</p> <p>本町においても、スクールカウンセラー3名、スクールソーシャルワーカー2名、スクールサポーター1名の方々が、先生方と共に不登校対策に取り組んでくださっているところですが、昨年、町議会が行った、住民対話集会において、複数の住民の方から、子どもが不登校になったとき、情報がどこからも得られず、不安で非常に辛かったとのお話がありました。</p> <p>「COCOLOプラン」にも、保護者支援として、各教育委員会の相談窓口を整備し、教育支援センター、相談機関、保護者の会、フリースクール等に関するわかりやすい情報の提供とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携による保護者支援が明記されています。</p> <p>不登校の子どもたちの学びの場の確保と保護者支援の充実のため、以下質問します。</p> <p>【質問事項】</p> <ol style="list-style-type: none">① 本町の小・中学校の不登校の現状は、どのようですか。② 本町のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールサポーターの活動状況は、どのようですか。③ 不登校児童生徒に対して、児童生徒1人1台の端末を活用した学習やオンライン授業など、多様な学びの場の確保について、本町のお考えと取り組みは、どのようですか。④ 児童生徒1人1台端末を活用した「心の健康観察」や「SOS相談窓口」の導入について、どのようにお考えになりますか。⑤ 不登校や通学しぶりのある児童生徒の保護者に対する相談支援や情報提供は、どのようになっていますか。⑥ 学校や家庭以外の子どもの居場所づくりに関して、他部局との連携した居場所づくりを本町はどのようにお考えですか。